

QR コード

JJ1SXA 池

一寸前になりますが、携帯電話対応のホームページを作りました、内容は、240の掲示板の閲覧(書き込みも可)とWiresのアクティブノード局の検索、後はJARLの携帯電話対応ページ(JCC・Gを調べられる他)の3サイトにリンクがあるだけの単純なものです、遠方に出かけた時、PCが無くてでも便利に使えるだろうといったものです、どちらかと言えば自分が使いたいだけのものと言った方が早いかもしれません。

利用するには、URLを携帯電話に入力するわけですが、ホームページにもリンクしてありますので、そこを開いて、URLを読めば良いのですが、当然ながら携帯電話へは手入力しなければいけません。

そこで、便利なのが、QRコードというわけです、最新の機種なら、これを読み取る機能がついていますから、このQRコードを携帯電話のカメラから読めば、携帯電話がデータを自動的に取り出してくれます。

一応、この携帯電話用のページのURLのみのデータで作成したQRコードをホームページに貼り付けてありますが、利用いただいているでしょうか？最初縮小のものを貼り付けたのですが、私の携帯電話では、認識率が悪かったので、大きくしました、私の携帯電話の認識率が悪かったのは、古くて、安い機種のせいで、接写モードが言うことを聞かなかったのかも知れませんが、今の大きさのコードなら、何方の携帯電話でも100%認識できることと思います。

QRコードは、少しぐらい汚れていても、読み取りができ、また読み取りの向きは、上下左右に自由とのことで、もろもろの事を余りにも知らなさ過ぎと反省です。

今回QRコードを作成(単にソフトを使わせてもらっただけ、作成などとはおこがましいが)するついでに、バーコードのこととか、QRコードについて、一寸勉強しました。

世界には、バーコードの種類は、100種類もあるそうで、その中でも、JAN(EAN、UPC)、ITF、CODE39、NW-7、CODE128あたりが代表的なバーコードだそうです。

バーコードは、クワイエットゾーン、スタート/ストップキャラクタ、データ、チェックデジットといった物が並び、NB:WB=NS:WS=1:2~1:3の比率で決められていて(N=ナロー、W=ワイド、B=バー、S=スペース)、バーコードリーダーで読み取りますが、1:3の比率と聞くと、CWの短点と長点の比率を思い出し親しみを覚えます。

2次元バーコード(バーコードは縦のみだが、2次元バーコードは縦横に情報を持たせる)はいろいろあるが、QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標(QRは、quick response=素早い反応の略)で、これを使うと、この中に、名前、電話番号、メールアドレス、ホームページURL等々の色々な情報を詰め込むことができ、相手がこれを携帯電話で読み取れば、多くの文字情報が一度に入ってしまう、一々手入力しなくても済むという本当に便利な優れものです。